

演題表(筆頭著者+タイトル)

9:10~9:15		開会の挨拶:西澤 幹雄 (ラルカディア1階R101)				
S1 9:15~9:55		シンポジウム:伊藤 誠二 (ラルカディア1階R101)				
10:05~11:55		一般講演 (演題番号は会場のアルファベットと番号からなっています。筆頭著者とタイトルを記載しています)				
セッション		A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
		エポック立命21 3階K309	エポック立命21 3階K310	ラルカディア 2階R201	ラルカディア 2階R202	ラルカディア 1階R102
1	10:05~10:15	A1*:松本 直樹(立命館大学)ら。植物細胞壁ペクチンの生合成に関する糖タンパク質転移酵素の生化学的解析	B1*:稲荷 尚吾(同志社大学)ら。血糖センサー含有タンパク質 Selenoprotein P1による膵臓β細胞障害のメカニズム解析	C1*:大矢 知佳(立命館大学)ら。表面マーカー-Sca1とCD34による体細胞初期化成功群と不成功群の解析	D1:山崎 正幸(龍谷大学)ら。食物アレルギー問題の解決に電磁波照射は利用できるか?	E1:栗田 宗一(滋賀医科大学)ら。Zn ²⁺ α2-glycoproteinの血清中濃度と血圧の相関およびその分子機構
2	10:15~10:25	A2*:佐藤 真希(立命館大学)ら。シロイヌナズナPHOT2のLOVDメインの光サイクルが生理反応へ及ぼす影響の解析	B2*:澤野 俊憲(大阪大学)ら。脳梗塞時のミトコンドリア機能に対するSema4D作用の解析	C2*:小原 惇(立命館大学)ら。Gata6, Oct4, Sox2を用いたマウス胎児線維芽細胞からの多能性の誘導	D2:岩井 良祐(立命館大学)ら。レプリカ交換分子動力学法によるプロトン化状態の変化に伴うボリグタミン酸のヘリックス-コイル転移の研究	E2:小野寺 章(神戸学院大学)ら。酸化亜鉛ナノ粒子はレニン-アンジオテンシン系を活性化し高血圧を惹起する
3	10:25~10:35	A3*:位田 康照(立命館大学)ら。黄金色藻が持つオレオクロムの光受容体およびDNA結合能の解析	B3*:藤井 愛理(立命館大学)ら。オウレンの初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対する効果	C3:中尾 広美(立命館大学)ら。新規ヒトPS/ES細胞マーカー抗体のエピトープの同定と結合特異性の解析	D3*:田中 誠(長浜バイオ大学)ら。新規プロテアソーム阻害剤リダフェン-Fの構造活性相関研究	E3*:平松 貴人(神戸大学)ら。ヨウ素染色を用いたアミロイド線維構造多形の識別
4	10:35~10:45	A4*:原田 愛華(大阪工業大学)ら。ヨーグルト酒からのGABA高生産菌の分離とGABA生産条件の検討	B4*:岩佐 晃輔(立命館大学)ら。初代培養肝細胞における一酸化窒素誘導に対するチオウトコウの効果	C4*:山田 敦子(神戸薬科大学)ら。コンドロイチン硫酸鎖による骨格筋分化・再生過程の制御メカニズムの解析	D4:橋田 泰彦(京都大学)ら。カーボンナノチューブを自己組織化的に被覆するペプチド分散剤の設計	E4:茶谷 絵理(神戸大学)ら。インスリンβ鎖におけるアミロイド線維前駆中間体の捕捉と構造特徴の解析
5	10:45~10:55	A5:川井 真好(姫路獨協大学)ら。Staphylococcus aureusの好中球に対する抵抗性の変化	B5*:中尾 友香(大阪薬科大学)ら。甲状腺ホルモンによる脂肪細胞の分化抑制機構の解析	C5*:松島 章子(京都産業大学)ら。Anosmin-1の血管形成におけるシグナル伝達経路の解析	D5:山崎 聖司(大阪大学)ら。細菌異物排出ポンプの阻害剤結合様式と阻害メカニズムの解析	E5*:若本 拓朗(立命館大学)ら。高圧力NMR法によるユビキチンの局所変性状態の立体構造解析
6	10:55~11:05	A6*:三輪 瞬平(近畿大学)ら。イネ苗立枯細菌病菌Burkholderia plantariiにおける三成分制御系TroK,TroR1,TroR2によるトロボロン合成制御システム	B6*:松村 美紀(大阪薬科大学)ら。甲状腺ホルモンによる脂肪滴蓄積促進機構の解析	C6:齋藤 僚(立命館大学)ら。神経分化過程における小胞体関連分解構成因子SEEL1の役割	D6*:清水 莉子(近畿大学)ら。細菌ヒスチジンキナーゼのH-boxを標的とする新規抗生物質、waldiomycin	E6:赤坂 一之(京都府立大学)ら。「原子」から「いのち」へ蛋白質のバリエーションを紐解く
7	11:05~11:15	A7*:大山 克明(立命館大学)ら。シアバクテリア生物時計再構成系におけるKaiCの二状態変化とATPase活性	B7*:若井 恵里(大阪薬科大学)ら。脂肪細胞におけるプロスタグランジンD2受容体の機能解析	C7:高井 雅聡(大阪医科大学)ら。卵巣明細胞腫瘍におけるPP2Aを介したPI3K経路とRas pathway経路のクロストーク	D7:加藤 洋平(京都大学)ら。Visible immunoprecipitation (VIP) アッセイによるマルチサブユニット複合体の構築様式の解析	E7*:森川 ありさ(神戸学院大学)ら。銀ナノ粒子による細胞毒性はミトコンドリアからのROS産生に関連する
8	11:15~11:25	A8*:藤井 裕己(大阪大学)ら。バクテリア由来アキア型スクラレーゼ・ヘリカゼ様酵素の機能解析	B8*:森川 剛介(大阪工業大学)ら。活性化した褐色脂肪細胞においてリン酸化NFκB抗体が認識するタンパク質について	C8*:吉田 亜佑美(京都産業大学)ら。VEGF-A/NRP1シグナルの阻害はがん細胞の増殖と転移を抑制する	D8*:山本 晃毅(長浜バイオ大学)ら。周期構造金属薄膜を用いた細胞分離と赤外線透過性による検出	E8*:谷口 甲介(神戸学院大学)ら。非晶質ナノリカはPI3Kシグナルを介した血管の弛緩反応を惹起する
9	11:25~11:35	A9*:山口 大志(近畿大学)ら。イオン液体耐性プロテアーゼの特性とイオン液体耐性細菌のゲノム解析	B9*:松岡 悦子(大阪工業大学)ら。糖尿病神経障害性疼痛に伴う脊髄におけるミトコンドリアの機能解析	C9:堀部 智久(京都大学)ら。P53活性阻害剤のスクリーニングおよび癌細胞からのMICAの分泌に及ぼす影響	D9*:横川 貴太(京都大学)ら。MMLV逆転写酵素のRNase Hドメインの性状解析	E9:田中 正和(関西医科大学)ら。生体内におけるホドリンリボシル化反応と細胞増殖との関連について
10	11:35~11:45	A10:加藤 志郎(関西大学)ら。D-アミノ酸高生産乳酸菌のドラフトゲノム解析	B10*:大野 華奈(大阪工業大学)ら。糖尿病性神経障害性疼痛に伴う脊髄後角の一酸化窒素産生抑制	C10*:芦野 佳那子(立命館大学)ら。Hippo経路を抑制するTRIM/RBCCタンパク質TRIM3の機能解析	D10*:辻 将吾(京都大学)ら。TALEタンパク質の分子進化	E10*:英山 明慶(大阪大学)ら。タンパク質N末端アセチル化を介した選択的ミトコンドリア分解の制御
11	11:45~11:55	A11*:西海斗(京都府立大学)ら。好熱菌Methiobacterium ruber H328株が産生するセラチン分解性プロテアーゼに関する研究	B11*:馬屋原 慈理(立命館大学)ら。フコキサンチンによる肥満細胞形成阻害効果	C11*:Kongpracha P.(大阪大学)ら。Inhibition of the LAT1-mediated leucine transport affects multiple cellular processes in pancreatic cancer cells.	D11*:石田 莉葉子(和歌山県立医科大学)ら。ESiマスマスペクトルを用いた非ワトソン-クリック型塩基対の検出	E11*:東本 葉月(和歌山県立医科大学)ら。ラット線維芽細胞におけるTGF-βシグナルのHsc70による制御について
L	12:05~12:35	ランチョンセミナー(アミノアップ化学主催):宇留島 隼人 (ラルカディア1階R101)				
12:40~13:10		ポスター前で自由討論 (エポック立命21 1階ホール)				
13:10~14:10		一般講演 (演題番号、筆頭著者、タイトルを記載しています)				
セッション		A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
		エポック立命21 3階K309	エポック立命21 3階K310	ラルカディア 2階R201	ラルカディア 2階R202	ラルカディア 1階R102
12	13:10~13:20	A12*:大野 結代(奈良女子大学)ら。クラスリン集合タンパク質CALM欠損が及ぼすメラニン産生への影響	B12*:上田 佳奈(和歌山県立医科大学)ら。Mindin thrombospondin type-1 repeat ドメインにおけるO-mannosyl化による分泌促進	C12*:山下 紘幸(立命館大学)ら。トランスオミクスによる線虫Caenorhabditis elegansにおけるMEX-1	D12:山口 賀章(京都大学)ら。概日リズムの頑強性を担う視交叉上核パルソレシオン神経結合	E12*:内藤 朋樹(京都大学)ら。リン脂質フリッパーゼATP10AのPCフリッパー活性及び細胞膜ダイナミクスへの関与
13	13:20~13:30	A13*:吉田 沙織(立命館大学)ら。胃腸上皮の構築と発達におけるエズリンシグナルの影響	B13*:福井 健人(京都大学)ら。酵母Pkc1の構成的活性化変異体の過剰発現が細胞死とキチン含量に及ぼす影響	C13*:牛田 吉泰(立命館大学)ら。線虫Caenorhabditis elegansにおけるセラトキナーゼ関連遺伝子T10B11.2の遺伝子発現および表現型解析	D13*:池田 亜弥(神戸薬科大学)ら。ヘパリン硫酸の合成異常が神経発生と行動に与える影響についての解析	E13*:土谷 正樹(京都大学)ら。骨格筋線維形成におけるリン脂質フリッパーゼの役割
14	13:30~13:40	A14:柴田 理志(大阪大学)ら。ARHGGEF10はRab8の局在に関与する	B14*:藤井 正興(立命館大学)ら。進化トランススクリプショントランスフェラーゼの進化解析	C14*:田島 達也(摂南大学)ら。線虫(C. elegans)のオス特異的な受精必須遺伝子spe-45の機能解析	D14:浅野 弘嗣(京都産業大学)ら。カルマン症候群原因遺伝子産物Anosmin-1はNetrin-1と結合する	E14*:徳永 智久(京都大学)ら。エイコサペンタエン酸の新規生理機能解析に活用できるω-末端修飾型脂肪酸アナログ体の効率的な合成法の確立
15	13:40~13:50	A15:河野 貴子(立命館大学)ら。血透過性制御におけるミオチン経路のリン酸化制御システムの解析	B15:梅川 碧里(立命館大学)ら。出芽酵母α-マンノシダーゼAMS1の活性制御機構の解析	C15*:中西 加純(摂南大学)ら。線虫(C. elegans)を用いた精細胞活性化因子の同定	D15*:坂本 凌(立命館大学)ら。microRNA-1270Lに拮抗するインターフェロンα competing endogenous RNAネットワーク	E15*:豊竹 洋佑(京都大学)ら。Shewanella livingstonensis Ac10における細胞膜リン脂質多様性に関与するPlsC4の基質特異性の解析
16	13:50~14:00	A16*:矢澤 一生(大阪大学)ら。心筋特異的な膜タンパク質の同定	B16*:志田 美春(神戸薬科大学)ら。コンドロイチン硫酸鎖の発現制御による初期軟骨分化過程の制御機構の解析	C16*:早川 結実子(長浜バイオ大学)ら。ヘリコバクター・ピロリ菌の産生毒素VacAに対するペプチドアプタマーの探索と評価	D16*:小西 諒(京都工芸繊維大学)ら。核酸トラッグの RISC に対する結合親和性評価法の開発	E16*:木村 優花(滋賀大学)ら。節足動物における中性糖脂質の共通性-1-クロソウシチVesputia flaviceps 幼虫を用いて
17	14:00~14:10	A17:森田 寛之(姫路獨協大学)ら。Kinesin family member 20A(KIF20A)の多量化と細胞分裂への関与	B17*:本田 美(奈良先端科学技術大学院大学)ら。糖脂質硫酸基転移酵素遺伝子の導入によるヒト子宮内膜癌細胞の表現型の変化	C17:和久 友則(京都工芸繊維大学)ら。異方性形態を有するペプチドナノキャリアによる細胞内抗原デリバリーに関する研究	D17*:植田 萌恵(立命館大学)ら。cMyclにより発現制御されるmiR17-92のiPS細胞誘導過程における役割に関する研究	E17*:片岡 三和(立命館大学)ら。Neurospora crassaにおけるセラミド代謝酵素遺伝子ホモログの生理的役割

12:00までに掲示	ポスター発表 (エポック立命21 1階ホール)				
14:20～15:25	一般講演のポスター発表				
	A1～A17	B1～B17	C1～C17	D1～D17	E1～E17
	A18*: 田村 峻佑(立命館大学)ら、植物細胞壁ペクチン由来ラムノガラクトロン(1,6-β-D-グルコピラノシド)オリゴ糖の調製とRG-1生成酵素の活性測定法の構築	B18: 奥山 哲矢(立命館大学)ら、ソウジュツによる初代培養肝細胞の一酸化窒素誘導の効果	C18*: 成川 智貴(立命館大学)ら、初期化4因子によるiPS細胞および心筋細胞の誘導過程における転写因子Foxd1の果たす役割	D18: 吉田 徳之(立命館大学)ら、乳癌培養細胞並びに組織におけるEphA2アンチセンスRNAの発現	E18: 井田 智恵利(名古屋女子大学)ら、ELISAをベースとしたポリ(ADP-リボース)測定法の確立と培養細胞からのポリ(ADP-リボース)抽出法の検討
	A19: 浅井 智広(立命館大学)ら、ホモダイマー光合成反応中心複合体の人工的ヘテロダイマー化	B19*: 内田 弘子(立命館大学)ら、シャクヤクとポタンビによる初代培養肝細胞の一酸化窒素誘導に対する効果	C19*: 早川 千尋(立命館大学)ら、ストレス応答シグナルが多能性の獲得と維持に果たす役割に関する研究		
	A20*: 西田 亮(立命館大学)ら、大腸菌一遺伝子欠失株Keioコレクションを用いたテール酸還元関連遺伝子の網羅的解析	B20*: 平 宗一郎(立命館大学)ら、フコキサンチンによるアトピー性皮膚炎予防効果	C20*: 野津 遼祐(立命館大学)ら、G-CSFシグナルを伝達する人工受容体の作製とこれを安定発現する多能性幹細胞株の樹立		
	A21*: 川口 高德(立命館大学)ら、腎尿管での電解質再吸収におけるアクトン結合タンパク質モエシンの生理的役割の解明	B21*: 横川 拓海(京都大学)ら、神経細胞においてp38 MAPKおよびcAMPシグナルはPGC-1 familyの発現を制御する	C21*: 近藤 真菜美(京都産業大学)ら、神経軸索ガイダンス分子Anosmin-1が血管内皮細胞におよぼす生理作用の解析		
	A22*: 井上 恭(立命館大学)ら、GPR120の脂肪細胞分化に対する影響の解析		C22: (演題取り消し)		
	A23*: 松田 諒子(立命館大学)ら、植物細胞壁生成に必要なUDP-アピオースの調製法の開発		C23*: 六嶋 千春(立命館大学)ら、線虫Caenorhabditis elegansの初期胚発生においてスフィンゴシンキナーゼsphk-1とスフィンゴシンリン酸分解酵素53C3.13は必須遺伝子である		*筆頭著者が学部生または大学院生の場合には、水色にてあります。これらの演題が「優秀発表賞」の対象になります。
14:20～15:25	高校生のポスター発表				
	立命館慶祥高等学校	H1: 越智匠海, 佐藤直, 菅原麻由, 無葉緑植物ギンリョウソウと外生菌根菌の共生関係—外生菌根菌を介した地下部ネットワークの解明—			
	京都府立桃山高等学校	H2: 西井瑞季, 東畑和真, 橋亮蔵, サリドマイドは植物の生長にどのような影響を及ぼすか	H3: 田端優貴, 平瀬詩織, 原田勇輝, 田中美穂, パナナの皮のキリン化現象について		
	大阪府立天王寺高等学校	H4: 池田楓, 岡本侑里香, 水谷彩乃, 安田悠真, 山之内志穂, 乳がん細胞の上皮間葉転換(EMT)における線維芽細胞増殖因子(FGF1)及び形質転換増殖因子(TGF-β1)の役割			
	大阪府立園芸高等学校	H5: 桑野峻, 國藤侃志, 石田祐輔, 高橋風翔, 野生乳酸菌のプロバイオティク	H6: 松口果歩, 松口莉歩, フザリウム属のカビを利用した海藻からの還元糖の生成とアルコール生産の可能性		
	奈良県立青翔高等学校	H7: 橋本英和, 山地潤心, 「池田ミカン」の系譜に関する研究—果実からのDNA抽出とRAPD分析による系統分析の可能性—			
	兵庫県立神戸高等学校	H8: 植田友也, 太田董月, 小田彩乃, 古川菜々美, 輪紋病発生に関与する環境要因の解析	H9: 平重輝, 西島拓海, 伊藤駿弥, 吉岡友裕, 生田依子, タンパク質以外の不凍物質		
	H10: 野口輝, 井西司, 若狭航季, 浅井雄飛, 二種の溶液を混ぜた混合溶液での再結晶	H11: 辻伶衣, 柴田規迪, 杉村侑亮, 橋爪沙良, 武内菜穂子, イネの有効活用～食べるだけじゃもったいない!～			
H12: 赤坂貴浩, 河合真央, 合田元英, 齋藤良典, 里井俊太, 地衣類から新抗生物質を見つける					
17:00まで	ポスター撤去				
S2	15:40～16:20 シンポジウム: 森 和俊 (ラルカディア1階R101)				
S3	16:20～17:00 シンポジウム: 長田 重一 (ラルカディア1階R101)				
S4	17:00～17:40 シンポジウム: 喜多 正和 (ラルカディア1階R101)				
P	17:40～18:10 平成27年度日本生化学会近畿支部奨励賞の授賞式と受賞記念講演: 波多野 亮 (ラルカディア1階R101)				
18:30～20:00	懇親会 (優秀発表賞の発表と表彰を含む)(ユニオンスクエア)				